

おひさまだより増刊号

令和4年9月14日 文責：園長 有好恵子

保護者の皆さまにお伝えしたい事柄があり、増刊号を発行します。

○9月3日、木村歩美氏の講演では、『子どものやってみたい！の源は大人のやってみたい！を叶える姿』という演題で行われました。大人が自分の好きなこと、やりたいことを真剣に、楽しそうにやっている姿が子どもの心を動かすというお話がありました。昔から言われ続けていた「大人の背中を見ている」ということですね。私たちスタッフも子どもと一緒に生活する身として是非そうありたいと思いました。

他にも乳幼児期からのさまざまな経験や実体験がこれからの小学校の勉強のみならず、人生を豊かにしていくという内容もあり、もっと先のことまで視野が広がる思いでした。終了後に取った保護者アンケートでは、講演内容について5段階評価で4.2と評価していただきました。講演会はビデオに収録しました。視聴を希望される方がいらっしやいましたら、貸出しを行いますので職員にお声掛けください。

○9月9日、職員研修日には、お休みのご協力ありがとうございました。コロナ感染症のこともあり、他園の見学には行かず園で研修を行いました。

①他園の行事風景のビデオを視聴し、そこから読み取る保育観や子どもの育ち等を考察し、ディスカッションしました。その中で、自分たちの保育の方法論や保育観を確かめ合うことが出来ました。これからも僅かずつかもしれませんが、おひさまの保育の基礎が盤石なものになっていくように思います。

②毎日ドキュメンテーションで一日の様子を紹介していますが、そのドキュメンテーションの持つ意義について研修しました。各クラスのドキュメンテーションを持ち寄り、その中のエピソードから読み取る子どもの成長や発達を全員で共有しました。ドキュメンテーションは、「〇〇組の今日の保育は～をしました」ではわからない、子どもの発言や考え、その時の姿が見えてきます。子ども同士の関わりや、遊びや活動の中で体験し

ていることに、どれくらいの気づきや学びがあるのか、保護者の皆さまにも意識して見ていただきたいと思います。机に向かって勉強しなくても、子どもたちは毎日たくさん学んでいます。子どもは、もはや有能な市民なのです。私たちはそんなリスペクトをもって「こども扱い」せずに子どもたちと向き合っています。そのことを、この研修後、保護者の皆さまにも伝えたくくなりました。

他にも、上半期の振り返りと下半期の活動等への展望等、検討事項もあり、有意義な一日を過ごさせていただきました。皆さまに心より感謝申し上げます。

○静岡県でバス置き去り事件がありました。おひさまでは、バスは使用していませんが、対岸の火事とせずに、安心安全確認に努めていきたいと思います。欠席の場合には必ずご連絡をお願いいたします。

○写真販売について

①スタッフ撮影の写真を「はいチーズ」で販売していましたが、今月より「ルクミー」に変わります。購入の方法は、ルクミーからメールで届きますのでその要項に従ってお求めください。ご面倒をおかけしますがよろしくお願いします。

②「ヒカリとカゲ」の写真家寺井さんの撮影した写真を上記とは別の会社で販売することになりました。プロの撮影なので金額は少し高めの設定のようです。一緒に配布したチラシに基づき購入してください。尚、玄関に飾ってあるパネルですが、寺井さんが撮影したものの中から無作為で展示しています。1枚2,000円で販売するそうです。希望の方は職員にお伝えください。

○10月1日はパパ会【ワークショップ】です。皆でわいわい楽しくやりましょう！！ご参加をお待ちしています。

○つぼみ組保育士の〇〇ですが、結婚に伴い「〇〇」と姓が変わりましたことをお伝えします。***最後まで読んでいただきありがとうございます***